

YATOかわら版

500年の
Commonを
考える



YATO

第3号 2020年1月

発行

YATOプロジェクト事務局

東京都町田市忠生2-5-3

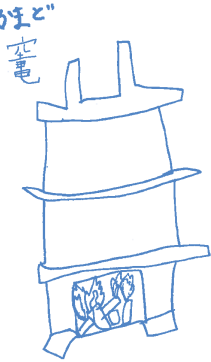
<https://yato500.net>

ただお 忠生のはなし

女性の暮らし

話を聞いた人・まさこさん(87才)

わたしには兄弟が7人いてね、女が4人で男が3人。私は上から4番目で、数え年で26歳のとき忠生にお嫁にきました。主人のじいちゃん、お父さん、お母さん(姑)、妹(小姑)が3人、弟が1人と、私たち夫婦。それでこどもが生まれて、最高10人で暮らしていました。朝と昼の2食分だけで、



お米を毎日2升3合炊いていましたよ。薪を使ってね。

当時は水道なんてないからね、庭先の井戸でガツチャンガツチャンって水を汲んできて、鉄瓶にいれて薪で沸かして。だから朝は早く起きてごはんつくって、お勤めがいるからお弁当も持たせて。でもまだ5人家にいますから、畑仕事から帰ってきたら、みんなにお昼を食べさせなくちゃいけないかった。



食器洗いは井戸水を溜めた桶でやってね。お湯なんて出ないから冷たい水で洗って。よく氷がはってるから割って。洗濯は、川じゃなくてうちのなかでやったけどね、桶の中で洗濯板を使って手洗いしてました。



お米を毎日2升3合炊いていましたよ。薪を使ってね。

そういう仕事をしながら百姓するんだから、昔の女性は本当に大変だったよね。

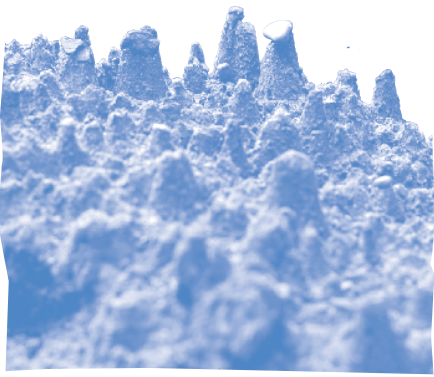
お嫁に行くということは、知らない家に入って、その家の人間になるんですから、覚悟が必要だね。家風に慣れるように一生懸命努力しました。自分の父親には、「お前には帰ってくるうちがないぞ」って言われていて。男親もね、それだけのことを娘に言うのは大変だったと思う。今はもう結婚することを、「家に入る」なんて言わないけどね、昔はそうやって家に入って、自分の中でただただ耐えてね。それでもね、昔のお嫁さんはみんな勤め上げたの、ちゃんと。辛いからって逃げ出した人は誰もいなかったの。辛抱、辛抱っていう気持ちでね。



絵：ひなた

わさめふう

しゃしんぶん はたのしゅうへい
写真・文：波田野州平



じっくりみるとあらわれた、あたらしいせかい!

とっていただけ、石の部分だけが削られずに残っていたのです。それは地獄の針山のような、大昔の街の跡のようにも見えました。

ある日、雨が上がった後に工事現場の砂山を、近づいてよく見てみると、不思議なことが起こっていました。雨が砂のやわらかい部分を削り

雨の図画工作



おもちをつくのが
すごくたのしかった。
おうちでもおみそしるに
おもちをいれたくなった!



絵：とわの

雨予報が見事に外れた、2019年12月22日。イベント「YATOの年の瀬」では、老若男女が入り混じり、民族楽器の演奏に合わせて、おもちをつきました。参加してくれたやとっ子に感想を聞いてみると……

プロジェクトレポート YATOの日記

「やとっ子同盟」参加者募集中!
YATOのイベントやワークショップなど、興味がある人はぜひ参加してね! くわしくは、ホームページ (<https://yato500.net>) をチェック。

ただいま、まちだしゅうへん小學生チーム・町田周辺に暮らす小學生チーム「やとっ子同盟」。忠生の歴史や文化に触れる遊びと学びの場です。
2月8日(土)は、築田寺の稲荷神社で行われる「初午」の準備をお手伝いします。参道の落ち葉を掃いたり、お稲荷さんのお掃除をしたり。1時間ほど掃除をしたら、落ち葉で焼き芋を作ります! 一緒にお手伝いしませんか?
集合時間.. 2月8日(土) 10時
集合場所.. 築田寺 こもればび堂前

